

令和6年度第3回香美市立図書館協議会 議事概要

日 時 令和7年2月13日(木)
14時00分～16時00分

場 所 香美市立図書館 かみーる

出席者
委 員 中村直人(委員長)、田島基宏(副委員長)、齋藤明彦、服部雄一郎、林田恵子

事務局 中山泰仁(教育次長)、小松幸春(生涯学習振興課長)、松岡可奈(館長)、山重壮一(統括官)

内 容 (1)香美市立図書館運営計画(サービス・蔵書構築計画)の進捗状況について
(2)その他
・次回開催日程について

(1)香美市立図書館運営計画(サービス・蔵書構築計画)の進捗状況について

委員からの意見
・本を読むことの先に何があるのかということ、まずは理解してもらいたい。これからの時代は、20年前と今と比べると自分で判断しなければいけないことがものすごく増えており、これからずっと自分で自分に必要な情報を収集して判断していかなければいけないという道が続く。本を読むこと自体が目的ではなく、本を読んで、情報を正しく理解する能力を培うということで、子供たちにどんなプラスがあるのかというところよく理解してもらいたい。 ・ブックリストやパスファインダーは高知県立図書館のものを参考にするなどして作成すればよいのではないかと。 ・転入者へ渡す利用案内については、一度訪ねてみたいと思える魅力的なものになっているかどうか、アプリサービスなど利用する人に寄り添った案内ができているかを一度点検してほしい。 ・多文化サービスについては、土日にあいている公共施設は図書館になるので、様々な公的機関のことが図書館に行ったらわかるというような、技能実習生にとって、図書館に何を提供してもらったら一番嬉しいのか、図書館があつてよかったと思えるようなものを検討したらよいのではないかと。 ・産業ビジネス支援や医療健康情報の提供は、最後はどこと組んでどうやってPRをするかということを考えたらいのではないかと。 ・移住者や転入者にとって、前住地で図書館行ってた人にとっては図書館って生活必需品ぐらいの感じで、当然香美市に来てでも行くと思うが、元々、図書館に通う習慣のなかった人が行く気になるというのは相当新しい観点が必要かと思う。だが、かみーるは今まで図書館に行く習慣なかった人にとっても魅力的な場所であると思う。本読むってことが魅力になってない人にとってはコーヒーが飲めたり、お菓子が買えたり、会話してよい図書館であること、学校に行きづらくても図書館に来てもらえたら歓迎なんだよとかなど、今まで図書館に行ったことのない人にもその魅力が伝わりやすい案内ができたらいいかと思った。 ・図書館本館、分館に毎日来ている人もいて、図書館は本を読むだけではなく、サードプレイスであると思う。

・次回開催日程について

次回開催日程は令和7年5月を予定している。令和7年4月以降に日程調整の連絡をする。

連絡事項

なし